

## 【収穫祭】

12月上旬より、約2週間に渡り各クラスごとに収穫祭を行いました。  
本校で栽培した米や野菜、肥育した豚の肉などの食材を生徒自身が調理し、食事をします。  
食のありがたみを感じることが出来る、本校の特色ある行事の一つです。  
それぞれの生徒にとって、思い出深い行事になったのではないのでしょうか。







## 生徒の感想（卒学年より）

### A 科

私たち農業科三年の収穫祭はカレーと豚汁をつくりました。調理はそれぞれ米班、カレー班、豚汁班の三班に分かれて調理をしました。班の皆が一丸となって頑張ったおかげで素早く調理して食べることができました。水農で育てた野菜や豚肉を使い、クラス全員で協力して作ったカレーと豚汁は格別に美味しく感じました。三年生最後の大きなイベントをクラス全員で楽しく収穫祭を終えることができて良かったです。

### Z 科

今年の収穫祭が三年間の中で一番印象に残りました。自分たちで育てた農産物を使って調理をしました。普段は、当たり前のように食べていましたが育てることから関わることで、食材一つひとつの大切さを強く感じる事が出来たからです。仲間と協力して作った「ヒレカツ」「豚汁」「焼き芋」は美味しく作ることが出来ました。

この行事を通して、生き物への感謝が大事だと学ぶことが出来、一生の思い出になりました。

### H 科

高校3年生になってから行事がある度、寂しい気持ちになる。卒業まであといくつ行事があるんだろう。何気なくカウントダウンしているうちに収穫祭の日になってしまった。みんなで協力して作ったカレーや豚汁、空いている時間にふざけ合った思い出は、今しか味わえない。そんな考えが頭をよぎった。僕はカレーと豚汁をかきこんだ。みんなでやった手押し相撲、しょうもないことで笑っていた時、全てかけがえのない思い出だ。一生忘れない。

## L 科

私は高校生活最後の収穫祭を終えて、改めて食の大切さと、人と食べる食事は気持ちが明るくなると感じました。今年の L 科は豚汁とポークカレーを作りました。今回の料理は大鍋で作る料理で、みんなと力を合わせて作った料理のため、いつもの調理実習で作る料理よりも格別に感じました。とても美味しかったです。あともう少しで卒業なので、収穫祭のような和気あいあいの空気感を大切にしたいです。

## E 科

私たち農業土木科では、生産物がないため、毎年他の学科からお米や野菜などを分けてもらい、その食材を使ってカレーや豚汁を作って食べていました。今回は高校の収穫祭ということもあり、カレーではなく、ジンギスカン鍋を使って焼肉を行いました。グループを作成し、友達と協力しながらお肉や野菜を焼き、会話が弾み、楽しい収穫祭になりました。この経験を糧に、これからも食と農業の尊さを大切にしていきたいと思います。

## M 科

収穫祭では、クラスのみんなで一つの鍋を囲んで食べた時間がとても印象に残っています。白菜やにんじん、ねぎなどの野菜や肉、豆腐を入れて作った鍋は、具材がたっぷりて温かく、身体も心も温まりました。味付けもみんなで相談しながら決め、少しずつ調整して完成させたことで、達成感がありました。鍋を囲みながら笑い合っで食べることで、クラスの一体感を強く感じました。また、それぞれが作ったデコレーションケーキは、各々の個性が出ていて興味深いものになりました。味も美味しく仕上がりました。三年生として最後の収穫祭が鍋とケーキでしたが、これらの味と雰囲気は忘れられない思い出になりました。

## C 科

私のクラスは、鍋を作りました。肉と白菜、にんじん、しいたけなど新鮮な食材を使い、切ったり味付けを考えるのは大変でしたが、協力して作るうちに楽しくなりました。自分たちで作った鍋を囲むと、野菜の甘みやしいたけの香りが格別で、美味しさを実感しました。食材のありがたさや友達と協力する楽しさを改めて感じた一日でした。

## P 科

私が収穫祭で一番楽しかったのは、豚汁を調理していたときです。

具材の大根やネギを切ったり、ゴボウの皮むきをしました。また、ネギを切るときには、選択授業の食文化のおかげで、手際良くできたように感じています。

その後は、お湯が沸騰した大鍋に具材を、私たちの収穫祭に来てくださった先生と一緒に大鍋に投入したり、アク取りや味付けもして、美味しい豚汁ができて、嬉しかったです。

P-3 の生徒たちが作ってくれたカレーも、ルーが中辛で辛かったけれど、とても美味しかったです。頑張っで作っでよかったと思える素敵な収穫祭でした。